



**JASDAQ**

2018年7月18日

各 位

長野県伊那市西箕輪 2148 番地 188  
株式会社イナリサーチ  
代表取締役社長 中川 賢 司  
(コード番号: 2176)  
問い合わせ先: 執行役員 総務部長 野竹 文彦  
電話番号 0265(72)6616

## ヒト由来がんを用いた PDX マウスモデルの開発と医薬品開発への 有効利用に関する三社共同事業の発足に関するお知らせ

株式会社イナリサーチ（以下「当社」）は、かねてよりヒトのがんを利用したマウスモデルである PDX (Patient Derived Xenograft) マウスモデル（以下「同モデル」）に強い関心を持ち、日本における有効利用を検討してまいりました。当社は、本日開催の当社取締役会において、韓国 DNA Link Inc.（本社：韓国ソウル特別市、以下「DNA Link 社」）及び株式会社日本エスエルシー（本社：静岡県浜松市、以下「日本エスエルシー社」）と同モデルの有効的発展と普及を念頭においた共同事業を開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. PDX マウスモデルの意義

PDX はヒトのがんを用いることからヒトの生体内環境に近いモデルとして、がん研究には必須のモデルと考えられています。臨床検体からは得られないデータを PDX を用いた実験から得ることができます。勿論、抗腫瘍効果、腫瘍増殖抑制効果において PDX は最適なモデルです。更に、新しく発見した遺伝子異常の機能的な意義、新しい薬の薬効の分子背景など、生きた腫瘍細胞を使わなければわからないことがたくさんありますが、PDX はそのような研究にも大いに役立ちます。

### 2. 各社の役割

ヒトのがんの適正かつ有効な利用を目指す DNA Link 社は日本エスエルシー社にアジア人のがん細胞を提供します。

日本エスエルシー社は DNA Link 社より提供されたアジア人のがん細胞を用いて PDX マウスモデルを作製いたします。

当社は DNA Link 社と日本エスエルシー社が作製する同モデルについて、その有効性に関わる試験や、市場開拓の支援を担当します。当社は製薬企業を始め、ベンチャー企業、大学等研究機関と幅広く取引、共同研究を行っておりますので、同モデルの有効利用と普及に大きな役割を担うこととなります。

### 3. 共同事業の相手先の概要

#### DNA Link, Inc.

(1) 名称	DNA Link, Inc.			
(2) 所在地	Seodaemun-Gu Bugahyeon-Ro 150, Industry Coop Bldg. 2 <sup>nd</sup> Fl., Seoul, Korea			
(3) 代表者の役職・氏名	Jong - Eun Lee, Chief Executive Officer			
(4) 事業内容	バイオサイエンス関連事業			
(5) 資本金	5億36百万円			
(6) 設立	2000年3月15日			
(7) 大株主及び持株比率	Atinum Investment (20.76%), Jong - Eun Lee (6.38%), IMM Investment (5.71%)			
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社とDNA Link（以下「両社」）には、記載すべき資本関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社間においても、特筆すべき資本関係はありません。		
	人的関係	両社間には、記載すべき人的関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社間においても、特筆すべき人的関係はありません。		
	取引関係	両社間には営業上の取引関係がありません。		
	関連当事者への該当状況	両社は、それぞれの関連当事者には該当しません。また、両社の関係者及び関係会社は、それぞれの関連当事者には該当しません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績				
	決算期	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期
	売上高	941百万円	1,148百万円	1,448百万円

※換算レート：1ウオン=0.1円（2018年7月2日現在）

#### 日本エスエルシー株式会社

(1) 名称	日本エスエルシー株式会社			
(2) 所在地	静岡県浜松市西区湖東町 3371 番地の 8			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 高木 博隆			
(4) 事業内容	実験動物の飼育販売			
(5) 資本金	9,504 万円			
(6) 設立	1949年4月1日			
(7) 大株主及び持株比率	高木勝平(10.93%)、高木久宜(9.42%)、高木善市(8.40%)			
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社と日本エスエルシー株式会社（以下「両社」）には、記載すべき資本関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社間においても、特筆すべき資本関係はありません。		
	人的関係	両社間には、記載すべき人的関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社間においても、特筆すべき人的関係はありません。		
	取引関係	両社間には営業上の取引関係があります。		
	関連当事者への該当状況	両社は、それぞれの関連当事者には該当しません。また、両社の関係者及び関係会社は、それぞれの関連当事者には該当しません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績				
	決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
	売上高	4,830百万円	4,613百万円	4,530百万円

#### 4. 日程

(1) 取締役会決議	2018年7月18日
(2) 共同事業契約締結	2018年7月18日
(3) 共同事業開始	2018年7月18日

#### 5. 今後の見通しと業績への影響

当社がPDXモデルの有効利用と発展に貢献することで、広くがん領域における当社の存在意義が高まることが期待されています。

また、取引先の抗がん剤開発に大きく貢献できることから、同モデルを用いた薬効試験の受注が増加すると考えられます。

2019年3月期の当社の業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後の業績に影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上